

## ゼミB 平成27年9月13日(日) 16:00~17:30

記号	テーマ・講師	ゼミの内容等	ゼミ形式	備考
B1	測地学 —重力を測って 地球を探る—  風間 卓仁 (理学研究科 助教)	「測地学」は地球の大きさや形を測定する学問です。今回は、測地学の観測で一般的な重力測定を皆さんに体験してもらいます。地球が私たちを引きつける力「重力」が、場所によってどれくらい違うのかを確かめます。この体験を通して、測地観測の重要性や地球の大きさを実感してみましょう。	実験	A2と同内容
B2	地理学 —地図を読む・歩く—  山村 亜希 (人間・環境学研究科 准教授)	京大吉田キャンパス周辺の現在と大正期の地図を比較し、自然地形と地域の歴史を探ります。前半は、地図に着色する作業を通して、読図の練習をします。後半では、自分で作った地図を持って、キャンパス内外を歩き、景観を観察します。	演習(読図)と 現地踏査 (フィールドワーク)	
B3	火山の噴火を 見てみよう  鍵山 恒臣 (理学研究科 教授)	世界のいろいろな火山噴火の映像をふんだんに見ながら噴火の不思議を考えます。また、インターネットで京都大学の火山観測所や世界の火山観測所にアクセスし、火山活動について調べる練習をします。	講義+話し合い	
B4	ブータンから学ぼう!  坂本 龍太 (白眉センター(東南アジア研究所) 特定助教)	ブータンにおける人々の暮らしを学びながら我々自身の暮らしを見直すことがこの授業のテーマです。我々の社会が得てきたもの、失ったものを考え、未来に向かって我々が歩むべき道を、皆で一緒に考えてみませんか。	講義および議論	
B5	地図や古典から知る 昔の京都  江上 直樹 (学際融合教育研究推進センター 特定助教) 安藤 哲郎 (非常勤講師)	京都は794年に平安遷都が行われて以来続いている町ですが、今の町を歩いても、あまり昔の様子は分かりません。そこで、地図や古典を手がかりにしながら、昔の京都について、いろいろな推理をしてみませんか。大きな地図を広げてお待ちしています。	演習	
B6	自然と人間 —アフリカ諸国、オセア ニア諸国の植物利用と 生物多様性—  西本 希呼 (白眉センター(東南アジア研究所) 特定助教)	主に、マダガスカル、ボツワナ、ナイジェリア、南アフリカ共和国、タヒチ、イースター島を取り上げ、その地域の人々の植物の実生活への応用(薬用、ものづくり、民芸品、家具)を紹介します。講師の実際のフィールドワークの映像を紹介し、臨場感あふれる授業を目指します。私たちの日本での暮らしとも比較し、生物多様性と人間がどう向き合っていくか考えていきましょう。	講義及び 双方向コ ミュニケ ーション	A9と同講師 (内容異なる)

記号	テーマ・講師	ゼミの内容等	ゼミ形式	備考
B7	<p>環境を測る技術と            衛る技術            ―環境工学の基礎―</p> <p>米田 稔            (工学研究科 教授)</p>	<p>環境に関する技術について学びます。目に見えない環境の質を調べる方法と改善する方法の原理を学んだ上で、皆さんと一緒に実験を行います。あわせて、京都大学の環境工学系の研究室で行っている研究の紹介も行います。</p>	<p>講義および実験＋ポスターによる研究紹介</p>	
B8	<p>留学生と一緒に世界の            環境問題を考えよう</p> <p>舟川 晋也            (地球環境学堂 教授)</p>	<p>環境問題は私たちにとって国を越えた課題です。本ゼミではアジア・中南米からの留学生らが中心となり、海外（特に開発途上国）の環境問題や解決に向けた研究や実践を紹介します。教員と留学生を交えた小グループに分かれ、自由に質問や議論をしながら、世界の環境問題について考えましょう。</p> <p>留学生による発表や留学生との対話は日本語（もしくは通訳付き）で行います。</p>	<p>講義、グループディスカッション</p>	A10と同内容
B9	<p>英語学習：            ここまで来た脳科学</p> <p>青谷 正妥            (国際交流推進機構 准教授)</p>	<p>神経毒を使ってまで英語の習得を妨げる脳。こちらにも神経生物学・脳科学で対抗するしかありません。過去 20 年の研究が明示する効果・効率追求型の学習の概要を 90 分に凝縮しました。理学博士（数学）・教育学博士（英語教育）の講師自身もこの学習法の実践者・成功者（英検 1 級、TOEIC・TOEFL 満点）です。</p>	<p>講義            （スライドによる presentation）</p>	
B10	<p>看護学            ―温かい            気持ちよい―</p> <p>医学研究科            生活環境看護学若村ゼミ            (大学院生)</p> <p>若手研究者提供</p>	<p>看護ケアのひとつである足浴の体験を通して、気持ちよいことを実際に感じてケアの意味を考えます。また、皮膚温の測定を通して、身体が温まることの生理的意義（なぜ眠くなるのか）について考えます。体内時計でいかに身体がコントロールされているかを考えます。</p>	<p>実験</p>	